

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】平成 19 年 6 月 14 日 (2007.6.14)

【公開番号】特開 2005-317140 (P2005-317140A)

【公開日】平成 17 年 11 月 10 日 (2005.11.10)

【年通号数】公開・登録公報 2005-044

【出願番号】特願 2004-134929 (P2004-134929)

【国際特許分類】

G 1 1 B 27/00 (2006.01)

G 1 1 B 7/004 (2006.01)

G 1 1 B 11/105 (2006.01)

G 1 1 B 19/28 (2006.01)

G 1 1 B 20/14 (2006.01)

G 1 1 B 20/18 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 27/00 D

G 1 1 B 7/004 C

G 1 1 B 11/105 5 8 1 K

G 1 1 B 19/28 B

G 1 1 B 20/14 3 5 1 A

G 1 1 B 20/18 5 2 0 B

G 1 1 B 20/18 5 5 0 F

G 1 1 B 20/18 5 7 2 D

G 1 1 B 20/18 5 7 2 F

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 4 月 25 日 (2007.4.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ディスクの U T O C 領域からの情報に基づいて該ディスクが未記録か否かを判別する制御装置において、

前記制御装置は、前記読取り情報が得られない場合、前記ディスクの読取り条件の調整指示を出力することを特徴とする制御装置。

【請求項 2】

前記調整指示は、前記ディスクの回転を制御する回転制御手段、または前記読取り情報を信号処理する信号処理手段の調整を指示するものであることを特徴とする請求項 1 記載の制御装置。

【請求項 3】

前記制御装置は、前記読取り条件の調整指示の出力後に、前記読取り情報が得られない場合、前記 U T O C 領域の他のクラスタの読取り指示を出力することを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の制御装置。

【請求項 4】

ディスクの U T O C 領域からの情報に基づいて該ディスクが未記録か否かを判別する制御手段と、

前記ディスクの読取り条件を調整する調整手段と、を備え、
前記制御手段は、前記読取り情報が得られない場合、前記調整手段の前記ディスクの読取り条件を調整することを特徴とする制御装置。

【請求項 5】

ディスクに記録された情報を読取る信号検出手段と、
前記信号検出手段により読取られた前記ディスクの U T O C 領域の読取り信号に基づいて該ディスクが未記録か否かを判別する制御手段と、
前記ディスクの読取り条件を調整する調整手段と、を備え、
前記制御手段は、前記読取り情報が得られない場合、前記調整手段によって前記ディスクの読取り条件を調整するように制御することを特徴とするディスク再生装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

上述の目的を達成するため、本発明に係る制御装置（1）は、
ディスクの U T O C 領域からの情報に基づいて該ディスクが未記録か否かを判別する制御装置において、
前記制御装置は、前記読取り情報が得られない場合、前記ディスクの読取り条件の調整指示を出力することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

また、本発明に係る制御装置（2）は、制御装置（1）において、
前記調整指示は、前記ディスクの回転を制御する回転制御手段、または前記読取り情報を信号処理する信号処理手段の調整を指示するものであることを特徴とし、
本発明に係る制御装置（3）は、制御装置（1）又は（2）において、
前記制御装置は、前記読取り条件の調整指示の出力後に、前記読取り情報が得られない場合、前記 U T O C 領域の他のクラスタの読取り指示を出力することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

さらに、本発明に係る制御装置（4）は、
ディスクの U T O C 領域からの情報に基づいて該ディスクが未記録か否かを判別する制御手段と、
前記ディスクの読取り条件を調整する調整手段と、を備え、
前記制御手段は、前記読取り情報が得られない場合、前記調整手段の前記ディスクの読取り条件を調整することを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

また、本発明に係るディスク再生装置（１）は、
ディスクに記録された情報を読取る信号検出手段と、
前記信号検出手段により読取られた前記ディスクのＵＴＯＣ領域の読取り信号に基づいて該ディスクが未記録か否かを判別する制御手段と、
前記ディスクの読取り条件を調整する調整手段と、を備え、
前記制御手段は、前記読取り情報が得られない場合、前記調整手段によって前記ディスクの読取り条件を調整するように制御することを特徴とする。

【 手続補正 ６ 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 2

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 2 】

本発明に係る制御装置（１）、（２）、（４）、ディスク再生装置（１）によれば、実際にはディスクにデータが書き込まれているにもかかわらず、ジッタ等の影響でデータ読取りエラーが多く、データが読めない場合でも、ディスクの回転制御や信号処理手段の読取り条件を変更して再度ＵＴＯＣ領域に記録された目録情報が読まれるので、「記録済ディスク」を誤って「未記録ディスク」であると判断する可能性を減少させることができる。

【 手続補正 ７ 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 3

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 3 】

また、本発明に係る制御装置（３）によれば、情報の読取り条件を変更してもディスクのＵＴＯＣ領域に記録された目録情報を読み出せないとき、ＵＴＯＣ領域の他のクラスタに記録された目録情報が読まれるので、「記録済ディスク」を誤って「未記録ディスク」であると判断する可能性をさらに減少させることができる。